

【教育学研究院プロジェクト研究第3回企画・講演会】

現代教師の専門性とアイデンティティ

—教職の困難をどうつかむか?—

今日の教職の困難の根底に職務の増大による多忙化、労働条件の悪化があることはいうまでもありません。しかし、現代社会における教師の位置の変化と職務と専門性の変容を検討することなしに、今日の教職の実際を捉えることはできないでしょう。

今回、教育改革が学校現場と教師に与える影響や、近年の保護者・子ども・住民と学校との関係の変化について研究されている若手教育社会学者の山田哲也氏をお招きして、講演をいただくこととしました。今日の教師の社会的位置がどのように変わり、専門性とアイデンティティがいかに変容しているかを豊富なデータをもとに論じていただきます。

現職教員の方々はもちろん、この問題に関心のある専門職や市民、学生・院生のみなさんもご参加ください。

日時：2013年7月27日（土） 午後2時～6時

場所：北海道大学 人文社会科学総合教育研究棟（W棟）410（無料）

講演 現代社会における教師の位置と変容する専門性

：山田哲也氏（一橋大学大学院社会学研究科准教授）

*専門は教育社会学。主な研究テーマは、教育改革が学校現場・教師に与えるインパクト、学力格差・不登校・子育てのあり方についての実態調査・国際比較。

コメンテーター：高島裕美氏

（北海道大学大学院教育学院博士課程・教育社会学）

※終了後、懇親会を予定しています。

企画・司会：間宮正幸・横井敏郎（北海道大学）

主催：北海道大学大学院教育学研究院（Tel 706-3292 間宮）